志布志駅周辺公園 賑わい創出プロジェクト

基本目標４　魅力的で安心して暮らせるまちをつくる

■事業の課題・目的

海の玄関口として港を中心に発展してきた志布志市ですが、広大な埋め立て港であるがゆえに、海や港をまちから感じられず、市民にとって必ずしも親近感のある存在ではありませんでした。そこで、「みなと」と「まち」をつなぐ志布志駅周辺の公園に、大型遊具や健康遊具などの整備と併せ、地域住民や来訪者の交流拠点の整備を行うこととしました。

志布志駅周辺公園「大浜緑地」を交流拠点として、また商店街エリアや志布志麓までの道のりを繋ぐ滞在拠点として期待し、まちの活力・賑わいにつながることを目的としています。

■事業内容



「まちのゲートウェイ」となるよう、新たな遊具や拠点施設の新設を行い、地域住民のみならず、来訪者の交流の場を創ります。

・令和８年度事業
　遊具新設：95,000千円（令和８年度供用開始）
　拠点施設設計：15,000千円
・令和９年度事業
　拠点施設整備　：180,000千円
　企画・運営業務：7,500千円
・令和10年度事業（拠点施設供用開始）
　企画・運営業務：7,500千円

■なぜ寄附を募るのか

志布志港及びJR志布志駅等の交流拠点や各地域の市街地など市民生活や産業活動を支える拠点整備の充実は、新たなまちづくりの核となり、魅力的で賑わいのあるまちづくりには必要であると考えます。

これから遊具や拠点施設を整備していきます。拠点施設については民間企業と共に高品質なサービスを考えていきます。

地域住民の賑わいだけでなく来訪者との交流の場として、まちに活力を見出す公園を整備するために支援をお願いします。



■メッセージ

公園というオープンスペースのもと、市民や来訪者が集い、様々な世代での交流の場をつくりたいと考えております。また、本施設整備により、令和８年度に開業した、多世代交流施設「こころば」との連携により、まちの回遊性向上等が見込まれ、点ではなく、面でのにぎわい創出を期待しています。

「行ってみたいまち・住んでみたいまち・住んでよかったまち」を目指し、本市の新たな賑わいの場を創出します。ぜひこのプロジェクトへのご支援をお願いします。